

平成28年度第2回東北地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会  
議 事 概 要

1. 開催日時： 平成29年 3月21日（火） 14：00～15：30
2. 開催場所： 東北地方整備局 大会議室
3. 出席委員： 委員長 浦井 義光 弁護士  
委員 内田 貴和 公認会計士・税理士  
委員 飛田 善雄 東北学院大学教授
4. 議 事  
(1) 平成28年度 東北地方整備局コンプライアンス報告書（案）について  
(2) 平成29年度 東北地方整備局コンプライアンス推進計画（案）について  
(3) 意見交換

5. 各委員からの意見・質問等

【意見】

・研修などの取組はしっかり行っているが、おかしいことを組織の中でおかしいと言える風通しの良い職場の雰囲気をつくるのが大事となる。

・不正を行えば、デメリットが多いことは正常な状態なら分かるが、疲労が重なる等で判断ができなくなり、誰にも相談できずに綱紀違反を行ってしまうことがある。面談のような場では把握できないような不正の端緒なども、例えば食事の際の雑談などで把握できることもあるので、オフサイトミーティングなどの空間づくりに努めるべきである。

・外部講師を招いた講習会では、法律論や制度説明よりは具体例を説明してもらったほうが、受講者の印象に残りやすいので、講習を依頼する際は、具体例を多く説明してもらうようお願いした方が良い。

・コンプライアンスはメンタルヘルスと密接に関連しているので、一体となった取組が必要である。

【質疑応答】

◆Q1 新規採用職員等への周知徹底の際、パンフレットやリーフレットがあれば、効率的な指導が出来ると思うが準備はしているか。

◆A1 要約したパンフレットを準備し配布している。

◆Q2 パワー・ハラスメントの相談が4件あり、無記名での相談もあって、相談内容に合致する事案がないか、事務所に点検を依頼したとのことだが、どういう形で点検を行ったのか。

◆A2 所属等の特定ができなかったため、書いてある内容から、こういった職員がいて悩んでいるようなことがあるので、目配りするように、全事務所に依頼した。

◆Q3 平成29年度のコンプライアンス推進計画を策定する上で、苦勞された点はあるか。

◆A3 中部地方整備局の事案を踏まえて、4つの再発防止策を含めた形で新たに項目だての整理をし、コンプライアンスの強化を図ったところ  
です。

6. 整備局からの発言

形式にとらわれない、経験に基づく広い視点からのアドバイスの必要性や、立派な計画が出来ても魂がなければコンプライアンスは上手く行かないというご指摘など、非常に重要なアドバイスばかりだった。

今日のアドバイス、ご意見を踏まえて、引き続き来年度もコンプライアンスを一生懸命進めて行きたいと考えているので、引き続きよろしくお願ひしたい。